



# 議会だより

# たむら

2021  
第66号

令和3年8月1日発行

## — もくじ —

6月定例会のあらまし	2
12名の議員が市政を問う	6
各常任委員会活動報告	13
第1回臨時会のあらまし	15
議会事務局からのお知らせ	17
シリーズ「市民の声」「若者の声」	18

今年初めてのプール授業（常葉小学校）





## 6月定例会のあらまし

令和3年6月定例会は6月7日から6月18日までの12日間にわたって開かれました。市長より条例の一部改正、令和3年度一般会計補正予算及び国民健康保険並びに介護保険特別会計補正予算などの議案が提出され、一般会計補正予算は修正可決、その他は原案どおり可決しました。また、議員発議による意見書提出の議案が提出され、原案のとおり可決しました。

### ○市長の所信表明

4月11日執行の市長選挙により初当選された白石高司市長が、6月定例会の冒頭、所信表明を行いました。その内容をまとめたものは下記のとおりです。

市民の皆様から、あたたかいご支援とご支持により、第三代目の市長として就任させていただきました。就任以降、市長という職務の大きさと職責の重さを改めて感じているところでございます。

市政を担うにあたり、「田村市の主役は市民一人ひとりである」が、私の基本的な理念であり、共に創る、市民のための豊かな「たむら市」を目指しており、その実現のために「市民の声をきくこと」を続け、皆様と共に考え、共に行動を興せばだれもが笑顔で、夢が語れるような田村市をつくることができると確信しております。

そのためには3つの基本方針を立てており、1つ目は正しい自由主義と民主主義の中で、未来を見すえた時代に合うよう、改めるべきものと、護るべきものを、開かれた議論により、秩序をもって選択すること。2つ目は、勇気をもって自由闊達にありのままの声を聞き、協議し決めること。3つ目は、多様な組織や団体と話し合い、協議しながら進めること。そして、行政権を行使するときは敬意と感謝と謙虚さをもって公平・公正に運営しなければならぬと考えます。

田村市は合併以降様々な自然災害に見舞われていることを踏まえ、危機管理を担う部門の設置に向けた検討やこれまで実施されてきた事業の評価・検証の実施、新型コロナウイルス感染症対策などに取り組んでまいります。

いずれも、田村市がもっと豊かに、若者が住みたくなり、市民の皆様が安心して暮らせ、誰もが笑顔になれる田村市を実現するための決意であります。

市民の皆様の声に誠実に耳を傾けながら、歩んでまいりる所存であり、公平・公正な市政運営を実施してまいります。



### 定例会で審議された議案

区分	番号	件名	議決結果
発議	2号	コロナ禍による米危機の改善を求める意見書の提出について (提出者 遠藤 正徳 議員)	原案可決
	3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について (提出者 遠藤 正徳 議員)	原案可決
	4号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について (提出者 菊地 武司 議員)	原案可決
	5号	福島第一原子力発電所汚染処理水海洋放出政府方針決定に係る意見書の提出について (提出者 橋本 紀一 議員)	原案可決
議案	41号	田村市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	42号	田村市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
	43号	田村市清掃施設条例の一部を改正する条例	
	44号	令和3年度田村市一般会計補正予算(第3号)について	原案修正可決
	45号	令和3年度田村市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
	46号	令和3年度田村市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	
	47号	田村市文化センター舞台機構設備改修工事請負契約について	
同意	1号	田村市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
	2号	田村市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意
	3号	田村市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意

### 6月定例会賛否一覧表

※意見が分かれた議案について掲載しました。

○：賛成 ●：反対

議案等名	会派名 議員名	議決結果	賛成・反対	改革未来たむら					市民net たむら			市民の会		政友会		至誠会		無会派			
				佐藤重実	安瀬一	石井忠重	吉田文夫	大橋幹一	菊地武司	石井忠治	渡邊照雄	遠藤雄一	長谷川元行	橋本紀一	二瓶恵美子	白石勝彦	猪瀬成明	照山信孝	半谷理徳	遠藤正徳	大和田博
議案第44号 令和3年度 田村市一般会計補正予算 (第3号)について		修正案 可決	11:8	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●
		修正部分 を除く 原案可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議案第44号の採決の様子

## ○令和3年度補正予算

令和3年度一般会計補正予算（第3号）、令和3年度一般会計補正予算（第4号）及び国民健康保険特別会計並びに介護保険特別会計の補正予算などが提出され、令和3年度一般会計補正予算（第3号）は予算常任委員会において移住定住促進関連事業に関しては、5か年に及ぶ長期計画であるため、さらなる議論が必要であるといった理由により、移住定住促進事業関連経費を減額した減額修正動議が提出され、本会議において減額修正案は賛成多数で可決、減額修正された以外の補正予算も賛成多数で可決されました。その他の議案は原案のとおり可決、各会計補正予算については、次のとおりです。

### ○一般会計補正予算（第3号）

補正額（補正後予算総額）	補正の主な内容（歳出）	
	事業名	補正額
1億5,548万9千円増 (264億223万7千円)	グリーンパーク都路スポーツ広場天然芝化新設事業	3,525万6千円
	子育て世帯生活支援特別給付事業	3,125万0千円
	消防団集合屯所整備事業	2,642万3千円
	福島県営農再開支援事業	1,080万9千円
	田村っ子の元気を支援する事業	852万8千円

### ○一般会計補正予算（第4号）

補正額（補正後予算総額）	補正の主な内容（歳出）	
	事業名	補正額
939万5千円増 (264億1,163万2千円)	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	939万5千円

### ○各特別会計補正予算

会計名称	補正額	補正後予算総額
国民健康保険特別会計	4,409万7千円増	37億1,699万7千円
介護保険特別会計	491万2千円増	49億4,481万2千円

### ○田村市文化センター舞台機構設備改修工事請負契約について

田村市文化センター舞台機構設備改修工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定（予定価格1億5,000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	田村市文化センター舞台機構設備改修工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	1億5,213万円
契約の相手方	宮城県仙台市青葉区中央二丁目10番地12号 三精テクノロジー株式会社仙台営業所 所長 石田 貴裕



田村市文化センター



○教育長及び教育委員の任命と  
監査委員の選任について

本年6月30日をもって任期満了となる教育長、  
教育委員1名の任命及び監査委員の選任について  
右表の方を同意しました。

役 職	区 分	氏 名
教育長	再任	飯村 新市 (しいむら しんいち)
教育委員	再任	渡邊 世子 (わたなべ せいし)
監査委員	再任	郡司 健一 (ぐんじ けんいち)

◎◎ 請願・陳情審査結果 ◎◎

6月定例会において、請願1件、陳情2件が審議され、すべて採択すべきものと決定しました。内容は次のとおりです。

**請 願** ○新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願について **【採択】**

請願者 福島県県南農民組合 大竹 利男 (紹介議員 木村 高雄 議員)

**陳 情** ○福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について **【採択】**

陳情者 日本労働組合総連合会福島県連合会田村地区連合会 議長 小林 和彦

○「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求め  
る意見書」の提出を求める陳情書 **【採択】**

陳情者 福島県教職員組合 中央執行委員長 國分 俊樹

令和2年度 田村市議会政務活動費収支報告

会派名 (議員名)	改革 未来 たむら	市民の会	市民 net たむら	政友会	至誠会	木村高雄	声をきく会	安瀬信一	計
交 付 額	1,160,000	820,000	720,000	720,000	720,000	0	360,000	20,000	4,520,000
支 出 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0	0
	研 修 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広 報 費	0	121,770	0	0	0	279,245	0	401,015
	広 聴 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情 活 動 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会 議 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	4,890	0	45,284	0	0	0	50,174
	資料購入費	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 務 所 費	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	126,660	0	45,284	0	0	279,245	0	451,189
返 還 額	1,160,000	693,340	720,000	674,716	720,000	0	80,755	20,000	4,068,811
支出割合 (%)	0.00%	15.45%	0.00%	6.29%	0.00%	0.00%	77.57%	0.00%	9.98%
備 考	佐藤 重実 安瀬 信一 石井 忠重 吉田 文夫 大橋 幹一	長谷川元行 橋本 紀一 白石 勝彦 二瓶恵美子 白石 高司	菊地 武司 石井 忠治 渡邊 照雄	猪瀬 明 照山 成信 半谷 理孝	遠藤 正徳 大和田 博 土屋 省一	無会派の議員	R2.9.30 解散 白石 高司 白石 勝彦 二瓶恵美子	R2.4.30 まで 無会派の議員	

# 代表・一般質問

# 市政を問う！！

3名の方が代表質問、9名の方が一般質問しました。

市政全般について各会派を代表し、質問することが代表質問。議員個々で様々な課題等について質問することが一般質問です。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）を議員ごとに掲載しておりますので、ご覧ください。

市政全般	代表	白石新市政事業の確認について	安瀬 信一議員	P7
		記者会見発言について	//	//
		基本姿勢と最重要課題について	菊地 武司議員	//
		選挙公報で謳っている公約について	//	//
		第三者機関の設置について	//	//
		市長の政治姿勢について	遠藤 正徳議員	P8
	一般	自治体による SDGs の取り組みについて	吉田 文夫議員	//
		白石市長の重点施策と広域連携について	白石 勝彦議員	P9
		補助事業について	半谷 理孝議員	P11
		事業の見直しについて	//	//
		DX(デジタルトランスフォーメーション) 推進について	土屋 省一議員	P12
		公正・公平な市政運営と市民の声について	石井 忠治議員	//
まちづくり	一般	広瀬地区の産業廃棄物処理施設建設について	二瓶恵美子議員	P9
産業・建設	代表	田村市「道の駅」について	遠藤 正徳議員	P8
	一般	福島イノベーション・コースト構想について	吉田 文夫議員	//
		木質バイオマス発電所の今後の方向性について	白石 勝彦議員	P9
		農作物への農薬散布について	半谷 理孝議員	P11
保健・福祉	代表	新型コロナウイルス感染症対策と財政について	遠藤 正徳議員	P8
	一般	新型コロナウイルス感染症について	木村 高雄議員	P10
		新型コロナワクチン接種の取り組みについて	渡邊 照雄議員	P11
安心・安全	一般	高齢者の交通関連支援事業について	二瓶恵美子議員	P9
		防災集団移転促進事業の活用について	佐藤 重実議員	P10
		消防団支援について	//	//
		防災・減災対策、地区防災計画策定について	土屋 省一議員	P12
教育	一般	教育問題について	木村 高雄議員	P10
		いじめについて	渡邊 照雄議員	P11
		教育行政の充実に向けた新市長の取り組みについて	石井 忠治議員	P12

※代表質問や一般質問の方の欄にQRコードが掲載されています。スマートフォンなどで読み取ると、YouTubeの録画映像にアクセスできますのでご利用ください。



市民 net たむら  
菊地 武司議員

最重要課題とその取り組みは。

危機管理体制を構築していきます。



### 基本姿勢と最重要課題について

問 最重要課題とその取り組みは。

答 (市長)

まず取り組まなければならないと考えている課題は、危機管理体制を強化することです。危機管理体制強化に当たっては、県や県内13市中5市が危機管理課や室を設けて体制強化を図っておりますが、本市においてもシームレスに対応できる体制が必要であると考えておりますので、先行する自治体の情報収集に努め、様々な方々の声を聴き、田村市版の危機管理体制を構築してまいります。

### 選挙公報で謳っている公約について

問 ①防災対策の充実は。

②市民の声を何でも聞く部門の新設は。

答 (市長)

①自分の命を守る「自助」や地域との係わりによる「共助」の意識付けが重要であることから、本年度は、自主防災組織の育成に向けた取り組みを行い、引き続き災害対策本部設営訓練、指定避難所設営訓練を実施していくなど災害被害を最小限に抑えるための「自助・共助・公助」の連携強化を図ってまいります。

②新設部署が果たす機能や役割、人員配置については、思案中であり、詳(つまび)らかに申し上げる段階にはありませんが、市民の皆様の声をお聞きし、職員と意見交換をしながら具現化してまいりたいと考えております。



台風 19 号被害写真

### 第三者機関の設置について

問 諮問案件は。

答 (市長)

委員会への諮問につきましては、聖域を設けずに現在行っている施策、事務事業を対象とし、職員が評価・検証を行います。職員が検証した結果、専門家等の意見が必要であると判断した案件等は委員会に諮問したいと考えております。

各事業の見直しや変更は。

一時中断・検証する事業があります。



改革未来 たむら  
安瀬 信一議員

### 白石新市政事業の確認について

問 計画中及びすでにスタートしている事業等の見直しや変更の有無と理由は。

答 (市長)

市民病院についてはハード面の投資よりも医療連携等によるソフト面での充実による質の高い医療提供を図れないか勘案し、再検討することといたしました。併せて、市民病院へ給食を供給する厨房施設についても検討することといたしました。また、道の駅計画については、ボーリング調査の結果、十分な水量が確保されなかったことや新型コロナウイルス感染症の影響による観光客減少や経済状況が悪化していることなどから事業を一時中断し、評価・検証したうえで年内を目途に方向性をお示ししたいと考えております。



新市民病院建設予定地  
(船引町屋頭清水地区)

### 記者会見発言について

問 ①前市政の再検証をしたいとの事だが内容については。

②一律のサービスが格差を生むということは、公平公正と相反するのでは。

答 (市長)

①これまで実施してきた施策について評価・検証し、良いところはさらに伸ばし、改めるところは改善する必要があると考えております。はじめに内部で評価・検証を行い、検証した結果、客観的な視点が必要と判断した施策については、外部の専門家等に依頼し、評価検証したいと考えております。

②地域課題の優先順位や解決手法を各地域が主体的に決定できる仕組みづくりが大切であり、地域の実情に応じた解決、地域特性に応じた発展は、地域毎に決定してもよいのではという、地域の実情や特性を生かした多様な意思決定の考えについて述べたものであります。時には一律のサービスを享受することが公平で公正な施策もありますが、一つに偏らず地域の実情に寄り添い、特色を生かすという点において公平公正であるといえ、目指す方向性と相反しないものと考えております。





SDGsの取り組み内容は。

総合計画へ取り入れてまいります。



吉田 文夫議員

### 自治体によるSDGsの取り組みについて

問 ① SDGs(※1)認知度向上に向けた普及啓発は。  
② SDGsと総合計画、基本構想、基本計画の整合性と組み入れは。

答 (市長)

①これまでの普及啓発の取り組みとして、職員向けの研修や外部研修会への参加、予算編成でのゴールの位置付け、市役所内の電子掲示板や市政だよりでの周知のほか、一般市民向けの講座などを通じ、普及啓発を行ってまいりました。市民アンケート調査の結果、認知度は約38パーセントであり、浸透できていない現状であることから、講演会やワークショップを開催し、市民等の認知度向上と理解を深めてまいります。

②現在、来年度スタート予定の第2次田村市総合計画の策定を進めております。総合計画は、長期的なビジョンを明らかにし、その実現に向けての取り組みや個別分野の方向性を定める重要な指針となります。SDGsの理念である「誰一人取り残さない」は市が持続可能な自治体であるために取り組むべき目標であることから、総合計画との整合性を図りながら積極的に取り入れてまいります。

### 福島イノベーション・コースト構想について

問 ①被災12市町村を対象とする営農構想の具体化とは。  
②ドローンモデルの「たむらモデル」とは。

答 (産業部長)

①営農再開の加速化を図るため、県が今年度からスタートさせた「福島県高付加価値展開支援事業」への取り組みにおいて、スマート農業技術の導入や市町村の枠を越えた広域的な生産、加工等が一体となった農畜産物の高付加価値生産等を展開する産地の創出を国の補助により支援するものであり、市としても産地創出を進めるため、関係自治体、事業者と連携して畜産、さつまいもなどの作物の産地創出に取り組んでまいります。

②「たむらモデル」とは、「ドローンを活用して新たな産業の担い手を育成し、育成した担い手により新たな地域産業を興し、結果として住み良い地域社会になる」という慶応義塾大学が名付けた一連の事業体系であり、現在人材育成を進めております。



ドローン講座(船引高校)

※1 2030年を期限とする17の目標と169のターゲットで構成され、国際社会全体が関わり解決していく開発目標のこと。

道の駅の今後の計画は。

年内に方向性をお示しいたします。



至誠会 遠藤 正徳議員

### 市長の政治姿勢について

問 目指す田村市の姿についての考えは。

答 (市長)

3つの基本方針を立てており、一つは、「正しい自由主義と民主主義の中で、未来を見すえた時代に合うよう、改めるべきものと、護るべきものを開かれた議論により秩序をもって選択する」。二つ目は、「勇気をもって自由闊達にありのままの声を聞き、協議して決める」。三つ目は、「多様な組織や団体と話し合い、協議しながら進める」。というものであります。

これら3つの基本方針を柱として、子どもたちが笑顔で、その子どもたちを照らし見守る大人たちもまた笑顔で、高齢者も生きがいをもって元気に暮らせるまちを市民の皆様と共に築いてまいりたいと考えております。

### 新型コロナウイルス感染症対策と財政について

問 新型コロナウイルス感染症による財政への影響と見通しは。

答 (市長)

市では、感染防止対策や地域経済活動の回復に向けた事業に取り組んでおり、国からの交付金や減収補てん債に加え、財政調整基金を取り崩すなど、市独自の財源を活用して対応しております。今後についても交付金の活用を前提に効果のある事業を適切な時期に実施してまいります。



### 田村市「道の駅」について

問 今後の計画について地権者を始め関係者へ説明に歩いていると聞いたがその内容は。

答 (市長)

対象地区となる要田地域の行政区長をはじめ、地権者や補償物件対象者の方々に対して、ボーリング工事の結果、十分な水量が確保できなかったことや感染症の終息見込みが立たない状況を踏まえ、施設整備が適切か判断するために事業を一時中断し、年内に方向性をお示しすることを説明しています。





二瓶 恵美子議員

高齢者支援窓口の一元化は。

名称等を含め、検討してまいります。



### 広瀬地区の産業廃棄物処理施設について

問 ①2つの施設の事業規模と内容・処理能力は。  
②近隣住民説明と住民理解は。

答 (市民部長)

①1つ目の施設は、がれき類や木くず、金属くず、廃プラスチック等を処理する施設で、1日当たりの処理能力は、がれき破碎施設が2基でそれぞれ800トンと395トン。木くずの破碎施設は1基で167.7トン。木くず及び廃プラスチックの破碎施設は24トンと24.4トン。廃プラスチック、紙くず、繊維くず及び金属くずの圧縮梱包施設は1基で3.8トンとなっております。2つ目の施設は太陽光パネルを処理する施設で、廃プラスチックの破碎として2.3トン、金属くずの破碎として2.1トン、ガラスくずの破碎で8.5トンとなっております。

②予定地に隣接する土地所有者や周辺住民等の同意書は提出されておりますが、今後、事業に対して必要な措置を行う際の調整は、事業主の責任において行うこととされております。

### 高齢者の交通関連支援事業について

問 ①高齢者への支援窓口の一元化は。  
②高齢者支援窓口の各行政局の対応は。

答 (市長)

①複数部署でそれぞれに事業が行われており、わかりにくい制度となっていることから、名称の見直しや窓口等の一元化についても検討してまいります。  
②組織のスリム化や効率化により業務が本庁へ集約されておりますが、必要なサービスが身近なところで受けられるよう対応しております。また、今後においても、行政局との連携を強化し、サポートが必要な方に寄り添った窓口対応に努めてまいります。



乗合タクシー

#### その他

- ・子ども支援と安全について
- ・あぶくま洞について質問を行いました。

田村広域行政組合との連携は。

小野町との連携を進めてまいります。



白石 勝彦議員

### 白石市長の重点施策と広域連携について

問 ①市民病院の特色ある医療とこおりやま広域圏(※2)との緊急医療体制づくりについては。  
②一般廃棄物処理基本計画並びに田村広域行政組合との連携は。

答 (市長)

①新市民病院は、現在の診療科に、精神科、小児科を追加し、担うべき救急医療は、1次救急と2次救急の中間となる1.5次救急を基本とする考えです。このほか、既存の形成外科・人工透析内科を強化するほか、健診機能、精神デイケア・母子ケア機能を新たに設けるなど「医療」「健康」「福祉」に寄り添う計画となっております。また、こおりやま広域圏との緊急医療体制の構築を図るため、構成市町村との医療体制の機能分化やネットワーク構築等の広域連携に関する調査検討を圏域内全15市町村で行うこととしております。

②田村広域行政組合は、令和5年3月31日をもって解散し、組合解散後は田村東部環境センター及び田村広域一般廃棄物最終処分場が本市へ移管されることから、市内全域の可燃ごみ及び不燃ごみ処理を田村東部環境センターに集約するとともに、小野町からの共同事業の申し出を受け、共同処理による連携を進めてまいります。



東部環境センター

### 木質バイオマス発電所の今後の方向性について

問 ①地域協議会の構成人員を見直す考えは。  
②廃熱利用の進捗状況は。

答 (市長)

①現在の協議会の構成は平成31年4月26日の第1回協議会の協議結果に基づいたものであり、構成の見直しについては、協議会で協議していくこととしております。

②現在も特定の業者と交渉を進めております。

#### その他

- ・まちづくりの理念について質問を行いました。

※2 郡山市を中心とした近隣16市町村からなる圏域で、圏域全体が将来も安心して、快適な生活が送れる地域づくりを目指す枠組みのこと。



日本共産党  
木村 高雄議員

第一子の給食無料化は。

財源を確保した上で検討いたします。



## 教育問題について

- 問** ①令和3年度の学校教育費の現状と保護者負担経費の状況は。  
②第1子の給食無償化は。  
③学校用務員を市の直接雇用に戻しては。

**答** (教育長)

①各種事業費や教材費など令和3年度における学校教育費総額は2億7,073万8,000円であり、昨年度整備したタブレットに係る維持管理費及び教材費は増えているものの、全体事業費は前年度比で6.6%減少しております。また、保護者負担経費は、小学校については年額7万円から7万2,000円前後、中学校については11万円から13万円前後の見込みであります。

②子育て世代を支援する上で効果的な施策であると認識しておりますので、財源を確保したうえで第1子も対象とした給食無償化について検討を深めてまいります。

③学校用務員については、人員の確保や労務の内容などを総合的に勘案し、複数の会員で業務を担うことができる田村市シルバー人材センターへ委託しております。主な業務は、清掃と給食の補助であり、現時点で業務に支障をきたしているとの報告はございません。今後については、学校の要望を踏まえ、シルバー人材センターと連絡調整を密にし、教育環境の維持充実を図ってまいります。

## 新型コロナウイルス感染症について

- 問** ワクチン接種への問題点、相談、苦情の内容は。

**答** (市長)

問題点として、報道が先行し、確定した通知が後になるため、不確定な情報の中で業務を進めなければならないことや医療スタッフの確保が課題と考えております。相談については、健康上の懸念から集団接種に対する不安の相談や接種時期や接種方法などの問い合わせをいただいております。苦情については、予約がとれない、電話が繋がらない、高齢者にはオンラインは無理。などの予約に係るものが多く寄せられており、オペレーターの増員や窓口での受付対応により予約環境を改善し対応しております。



コールセンター

消防団への支援は。

消防団と協議し、支援を行います。



佐藤 重実議員

## 防災集団移転促進事業の活用について

- 問** ①事業における移転者にとってメリット・デメリットは。  
②支援制度の周知は。

**答** (市長)

①本事業のメリットは安全な土地で安心して生活できることや財産価値の維持・継続ができること、移転先の住宅・土地購入に係る住宅ローンの利子相当額や引っ越し費用の助成、移転元地の買収及び家屋補償などの支援を受けることができることです。デメリットとしては、移転先の住宅建設に係る新たな経済負担や住み慣れた生活環境の変化などが考えられます。

②住民への説明及び意向確認は必須であると考えておりますので、支援制度の周知を図り、集団移転等に対する地域住民からの要望に対応できる体制づくりに努めてまいります。

## 消防団支援について

- 問** ①緊急防災・減災事業債の事業期間延長による消防団への今後の支援策は。  
②資格取得に対する支援策は。

**答** (市民部長)

①令和7年度までの事業期間内で、防災拠点や消防水利、初期消火器資材等の必要な整備について、消防団と協議しながら計画的に活用してまいります。

②消防団員の消防団活動で得た知識・技能は、各資格に必要な学識経験等を有していると認められるため、資格ごとに資格取得の優遇を受けることができます。それぞれの費用負担の助成については、取得者の効果的な活用方法等とともに検討してまいります。



新たに整備された消防団屯所  
(船引字五升車地内)

その他

- ・老朽化インフラの修繕計画について
  - ・ムシムシランドの今年度の取り組みについて
- 質問を行いました。





半谷 理孝議員

合致しない事業の導入は避けるべきでは。

必要性などを精査し、対応してまいります。



### 補助事業について

問 市に合わない事業の導入を避けるべきでは。

答 (市長)

市の公共事業については、その工事の必要性、将来性等を十分に検討したうえで、予算計上し実施しておりますが、特に補助事業において整備する施設の将来の利用状況が見通せず、多大な維持管理の負担とならないよう、改めて事業の必要性などを精査したうえで、対応してまいりたいと考えております。

### 事業の見直しについて

問 市有地内全面禁煙と長寿者褒賞の対象外を見直す考えは。

答 (市長)

昨年12月定例会において「分煙環境の調査・検討に関する決議」をいただきましたことから、非喫煙者、喫煙者及び関係団体が理解しあえる合理的な方策として、場所や時間、対象などを検討しております。また本年4月に施行された県条例との整合も図りながら、議会の決議も尊重し、検討を進めてまいります。

長寿者褒賞については、昨年条例の改正を行いました。改正の主旨は生活保護受給者や税等の滞納者を切り捨てるということではなく、他の長寿者と分け隔てなく、長寿を祝い称える措置を講じるためですが、市民の公正・公平を期するため、更により方法がないか検討してまいります。



禁煙看板(あぶくま洞)

### 農作物への農薬散布について

問 農薬の使用実態及び市の農地における薬剤の使用指針は。

答 (産業部長)

市内の農薬散布の実態については把握しておりませんが、農林水産省の登録を受けた農薬を適切に取り扱うことで病害虫などの防除に一定の効果が得られると認識しております。また、指針につきましては独自に定めておりませんが、JAや農業普及所から農薬を使用した防除などの情報が発信されておりますので、市といたしましても関係機関と連携しながら適正な使用方法等の周知を図ってまいります。

市内の医療従事者数は。

把握している従事者数は約500人です。



公明党 渡邊 昭雄議員

### 新型コロナワクチン接種の取り組みについて

問 ①市内医療従事者数と注射業務が可能な従事者数は。

②64歳以下の接種体制は。

答 (市長)

①市が把握している市内の医療従事者数は約500人で、このうち、注射業務が可能な方は、医師26人と看護師約190人、歯科医師18人合わせて230人余りです。

②16歳以上64歳以下の約19,000人に対する接種については、現行の集団接種と個別接種に加え、通学、就業している年代であることに留意し、夜間接種、学校や企業の理解と協力の下、事業所単位の接種日の設定や事業所内特設会場での接種など、新たな接種機会を設け、接種が受けやすい体制の構築を目指してまいります。



ワクチン接種

### いじめについて

問 ①市内の現状は。

②いじめをしてしまった児童生徒への相談やケアは。

答 (教育長)

①令和2年度中に小学校で190件、中学校で78件、合計268件のいじめを認知しました。そのうち解消できたいじめが205件、解消中であるものが63件です。平成30年度から積極的ないじめの認知を行っており、いじめの件数は増加傾向にありますが、解消したいじめの件数も増加しております。現在のところ、いじめ防止条例に基づく重大事態と認知した事案はありませんが、児童生徒と教職員の日常的な関わりを大切にして、いじめの早期発見と家庭の協力を得ながら早期解決に取り組んでおります。

②いずれのいじめの事案に対しても、被害児童生徒の心のケアを第一に支援する体制を整えるとともに、加害児童生徒に対する指導・相談についても学校の教職員が一丸となって、スクールカウンセラー(※3)やスクールソーシャルワーカー(※4)警察等の関係機関とも連携しながら進めてまいります。

その他

・環境整備工事について

・ヤングケアラーについて質問を行いました。



石井 忠治議員

財源確保の取り組みは。

未利用財産の公売等を実施しております。



### 公正・公平な市政運営と市民の声について

- 問 ①「市民の声」の集積と市政への反映は。  
②財政健全化に向けた財源確保の取り組みは。

答 (市長)

①市民の声を集積する環境は電話、ファックス、メール、SNS、アンケート、窓口など幅広く受け皿が整いつつあるものの、それらをどのように情報処理し公開し、市政に反映していくかが肝であると考えております。いただいた声を可視化し、市民へ公開することで、市民と行政との共有の財産化が図られればと考えておりますが、施策展開を図る際にPDCA サイクル(※8)が機能するよう、市民の声を市政執行の柱に据えていきたいと考えております。

②財源確保に向けた取り組みについては、未利用財産の公売やふるさと納税に対する取り組みを強化しております。また、少子高齢化や生産年齢人口の減少が今後も続くことが予想されることから、様々な施策を講じることで、市民税、固定資産税等の将来的な自主財源の確保を目指してまいります。

### 教育行政の充実に向けた新市長の取り組みについて

- 問 ①市内小中学校の児童生徒の学力向上に向けた新たな具体策と課題は。  
②スクールバスの運行見直しによる効率的な運行は。

答 (市長)

①本年度初めて、中学校1年生を対象に「リーディングスキルテスト」を実施いたします。このテストは、文章読解に必要な力をいくつかのプロセスに分け、何につまずいているのかを分析できるものです。テスト結果をもとに各校の実態を明確にし、具体的対策を講じて学力向上につなげたいと考えております。

②国県市道等の幹線道路に、安全に乗降できるバス停を確保し運行することで、効率化を図るとともに、利用者数によっては、ワゴン車を活用するなどの工夫をしております。運行の見直しについては、田村市通園・通学のあり方に関する検討委員会からの提言を勘案し、保護者や地域、学校等が協議を重ね、方向性を見出すことが必要であると考えており、今後の船引地域の小学校統合などの機会を踏まえながら検討を進めてまいります。



スクールバス

※5 自分たちの地域は自分たちで守るという自覚、連帯感に基づき、自主的に結成される組織で、被害の予防・軽減するために活動を行う組織のこと。

DX 推進の状況と課題は。

キャッシュレス決済が可能となりました。



土屋 省一議員

### 防災・減災対策、地区防災計画策定について

- 問 ①防災行政無線の難聴者の方への対応や市民への周知徹底は。  
②自主防災組織の現状と地区防災計画策定推進は。

答 (市長)

①聴覚障がい者の対応については、防災無線による文字放送を実施しております。聞き逃し・聞き取れなかった場合、火災放送時には本体に自動録音され再生することで確認することができます。また、24時間以内の放送内容を電話で確認することもできますので利用について周知してまいります。そのほか各種 SNS を活用した情報発信や避難行動要支援者名簿による支援が必要な方への対応が迅速に行えるよう対策を講じております。

②市内において39団体の自主防災組織(※5)が存在しておりますが、中には形骸化している組織も見受けられるため、本年度事業として自主防災組織の育成を行うこととしております。また、地区防災計画策定についても先進地の事例を紹介しながら策定に向けての支援を行い自主防災組織の充実を図ってまいりたいと考えております。



文字放送防災行政無線

### DX(デジタルトランスフォーメーション※6)推進について

- 問 DX 推進の進捗状況と課題は。

答 (総務部長)

すでにコンビニでの住民票、印鑑証明書交付や電子申請システムなどに加え、本年4月から市税等のキャッシュレス決済が可能となっております。公民館会議室や体育館の利用予約などが可能となるシステムについても9月の本格稼働を予定しております。また、市民の利便性向上を図るため、窓口業務のワンストップサービス(※7)として、住所氏名などの情報が記載された申請書や届出書類をまとめて印刷できるシステムなど、窓口での記入が簡便になる仕組みの導入も検討しております。

その他

- ・市長として取り組むべき課題と行政施策について
- ・田村市空家等対策計画について質問を行いました。

※6 IT 技術を浸透させることで、人々の生活(※5)をより良いものへと変革させる概念のこと。 議会だより/第66号 12



# 各常任委員会活動報告

議案1件、陳情1件を審査し、  
可決すべきもの・採択すべきものと決定

総務文教常任委員会

委員長 菊地 武司

## 6月定例会委員会審査

総務文教常任委員会には、工事請負契約1件の議案が付託され、原案のとおり可決すべきものと決定されました。また、陳情1件も付託され、採択すべきものと決定しました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 田村市文化センター舞台機構設備改修工事の請負契約について

**問** 落札率や応札者数及び条件付き一般競争入札の「条件」は。

**答** (生涯学習課)  
落札率は95.3パーセント、応札者は1社、入札参加の条件は、市文化センターの収容人数が800人規模のため、以前に同等規模の施設工事を行ったことのある業者が条件となりました。

### 所管事務調査

6月15日に、「滝根行政局の施設改修計画と市文化センターについて」の所管事務調査を行いました。



田村市文化センター



滝根行政局

### 陳情の審査結果

「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書」は、東日本大震災で被災し、経済的理由により、就学等が困難な子供を対象に実施されている被災児童生徒就学支援等事業について、事業にかかる予算措置が単年度のため、事業が終了もしくは縮小することになれば、自治体負担となり、被災児童生徒の就学支援に格差が生じると危惧されることから、令和4年度においても事業を継続し、被災児童生徒の就学支援に必要な財源措置を行うよう関係機関に意見書の提出を求めるものです。

審査では、田村市においても、この被災児童生徒就学支援等事業に該当している児童生徒に対し、継続して給付されており、今後も事業を継続して行うことで、引き続き支援を行っていくべきとの意見が出されました。

審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。また、議員発議により、意見書提出の議案を提出し、全会一致で可決されました。

議案3件を審査し、すべて可決すべきものと決定

市民福祉常任委員会

委員長 橋本 紀一

## 6月定例会委員会審査

市民福祉常任委員会には、条例の一部改正3件の議案が付託され、すべて原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 田村市清掃施設条例の一部を改正する条例

**問** ①施設跡地の利用方法は。  
②未解体の廃焼却施設は。

**答** (生活環境課)  
①廃止に伴い譲渡も可能で、すでに常葉町の最終処分場跡地は売却しておりますが、法律により廃棄物が地下にある一般廃棄物最終処分場跡地は、県が指定区域として管理しているので形質変更などを行う場合は、県知事に対して事前に届け出が必要となります。  
②未解体の廃焼却施設については、計画的に解体を進めていく予定であります。

### 田村市国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴う、条例の改正である旨の説明があり、質疑等はありませんでした。

### 田村市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

**問** 条例改正によるメリットは。

**答** (こども未来課)  
条件が緩和され、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者が、すべて該当となります。

### 所管事務調査

6月15日に、「田村市屋内遊び場について」の所管事務調査を行いました。



所管事務調査の様子

# 請願 1 件、陳情 1 件を審査し、 すべて採択すべきものと決定

産業建設常任委員会

委員長 遠藤 正徳

## 6月定例会委員会審査

産業建設常任委員会には、請願 1 件、陳情 1 件が付託され、いずれも採択すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 請願の審査結果

「新型コロナ禍による米危機の改善を求める請願」については、コロナ禍により米の需要が減少し、生産者・流通業者に与える影響やコロナ禍による生活困窮者に対する生活支援を行うよう、政府に対して意見書の提出を求めるものです。

審査では、コロナ禍においてどの程度影響を与えているのか数値上明らかとなっていないが、現状を鑑みると政府による支援が必要との意見が出されました。

審査の結果、全会一致で採択すべきものと決定されました。

また、議員発議により、意見書提出の議案を提出し、全会一致で可決されました。

### 陳情の審査結果

「福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出を求める陳情書」については、パート労働者や契約社員などの就労形態の違いを問わない生活水準の確保や、消費の喚起と市場拡大による経済の好循環のため、最低賃金の引き上げや改定諮問時期の早期発効などを行うよう、政府に対して意見書の提出を求めるものです。審査では、趣旨については賛同するが、新型コロナウイ

ルス感染症の影響によりいまだに経済状況の見通しが立たない中、最低賃金の引き上げによる企業への影響を考えると引き続き審査すべきとの意見が出されました。一方、労働者側の立場からは、最低限度の生活を守るためには、最低賃金の引き上げは必要であり、陳情の趣旨は十分理解できるため、「採択すべき」との意見が出されました。

審査の結果、賛成多数で採択すべきものと決定されました。

また、議員発議により、意見書提出の議案を提出し、全会一致で可決されました。

### 所管事務調査

6月15日に、「グリーンパーク都路の現状について」の現地調査を行いました。



所管事務調査の様子

# 議案 3 件を審査し、一部修正し可決すべきものと決定

予算常任委員会

委員長 安瀬 信一

## 6月定例会委員会審査

予算常任委員会には、令和3年度各会計補正予算議案3件が付託されました。一般会計補正予算（第3号）に対し、移住定住促進関連事業経費を削除した修正案が提出され、採決の結果、一般会計補正予算（第3号）については原案修正可決すべきもの、その他の議案については原案のとおり可決すべきものと決定されました。主な審査内容については、次のとおりです。

### 令和3年度一般会計補正予算

**問** 移住定住関連事業である移住定住施策運営事業、林業人材獲得と木材加工・サービス創出事業、小さな拠点整備事業の3つの事業に期待される効果は。

**答**（経営戦略室）

移住定住施策については、市が主体的に取り組む事業となっており、東京に設置する東京リクルートセンターと、市内に設置する田村サポートセンターの連結により、首都圏の移住を希望する若者や企業等に直接接触することで、移住者の獲得に結び付けるものです。また、それに併せて都路の豊かな森林資源を再び活用するために、林業人材獲得と木材加工・サービスの創出を図ることとしています。この事業は、復興事業として都路に裨益（ひえき）する事業であることが求められていますが、多くの若者を招き入れることで、田村市全体に裨益する事業として進めていきたいと考えています。小さな拠点事業は、交流人口の獲得を図ることを目的として、常葉保健センターの改修を図ることとしており、地域課題を解決しながらコミュニティの拠点としての機能を整備していくこととしており、それに関わる人

材を育成し、次年度以降は企業の誘致なども進めながら、交流人口を拡大し、最終的には第2のテラス石森を目指していきたいと考えています。

**問** 中学2・3年生を対象とした英語が使える人材育成事業の研修先決定の経緯は。

**答**（学校教育課）

コロナ禍により国外研修は不可能とされるため、代替として異国情緒あふれる環境と飛行機で地元を離れざるを得ない環境、また、英語研修の受入実績もあるという点で長崎県のハウステンボスを選択しました。



予算常任委員会審査状況



# 第1回臨時会のあらまし

6月定例会に先立ち、令和3年第1回臨時会が5月11日に招集され、専決処分事項の承認、令和3年度一般会計補正予算、施設建設工事請負契約などの議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

## ○市議会議員補欠選挙

令和3年4月11日に田村市議会議員補欠選挙が定数1で行われました。第1回臨時会において、議席の指定及び常任委員会委員の指名が議長より行われました。

議席番号	1番
所属常任委員会	産業建設常任委員会、予算常任委員会
住所	船引町荒和田字天ヶ久保67



遠藤 雄一 議員

## ○令和3年度一般会計補正予算

令和3年度一般会計補正予算が提出され、原案のとおり可決しました。主な予算額については、次のとおりです。

### ○一般会計補正予算

補正額（補正後予算総額）	補正の主な内容（歳出）	
	事業名	補正額
1億4,674万8千円増 (262億4,674万8千円)	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	7,344万2千円
	福島県沖地震被災住宅修理支援事業	2,417万0千円
	子育て世帯生活支援特別給付金事業	2,010万0千円
	商工業応援事業	3,000万0千円

## ○米流通合理化施設建設工事請負契約について

米流通合理化施設建設工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定（予定価格1億5,000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	米流通合理化施設建設工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	9億8,989万0千円
契約の相手方	岩手県北上市川岸1丁目16番1号 株式会社サタケ東北事業所 所長 多田 賢一郎



米流通合理化施設建設予定地

## ○古道ライスセンター建設工事 請負契約について

古道ライスセンター建設工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定（予定価格1億5,000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	古道ライスセンター建設工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	2億1,322万8,400円
契約の相手方	宮城県岩沼市下野郷字新南長沼1番地の2 株式会社トセキ東北 代表取締役社長 赤坂 暁生



古道ライスセンター建設予定地

## ○サツマイモ貯蔵施設建設 工事請負契約について

サツマイモ貯蔵施設建設工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定（予定価格1億5,000万円以上）により、議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。詳細は、次のとおりです。

契約の名称	サツマイモ貯蔵施設建設工事
契約方法	条件付き一般競争入札による契約
契約金額	2億1,780万0千円
契約の相手方	福島県郡山市日和田町高倉字杉下16番地の1 株式会社南東北クボタ福島支店 支店長 吉田 功



サツマイモ貯蔵施設建設予定地

## 全国市議会議長会特別表彰

令和3年5月26日に行われた第97回全国市議会議長会定期総会において、議長並びに4名の議員が感謝状・特別表彰を受賞しました。

### 議会議員歴15年以上

※ 旧町村議会議員の在職期間は、表彰規定により在職期間の1/2の期間で計算されています。

### 感謝状贈呈



遠藤 正徳 議員  
田村市議会議員  
15年0か月



菊地 武司 議員  
田村市議会議員  
15年0か月



木村 高雄 議員  
田村市議会議員  
12年2か月  
旧滝根町議会議員  
3年0か月



大和田 博 議員  
田村市議会議員  
15年0か月



大橋 幹一 議長  
全国市議会議長会  
産業経済委員会委員  
活動への感謝状



## 請願・陳情のお知らせ

請願とは、憲法第16条に規定された国民の権利として、公の機関に対して要望を述べる行為で、必ず紹介議員を要しますが誰でも提出することができます。陳情とは、事実上の行為として議員の紹介なしで提出するものです。

### ○請願（陳情）書の書き方と提出方法

請願書などは、議会事務局へ直接持参してください。なお、定例会開会の5日前（土日祝日を除く）に開かれる議会運営委員会前日午後5時までに受付したものは、当該定例会で審議するかどうかを議会運営委員会で判断しますが、それ以降に受付したものは、次の定例会前の議会運営委員会で審議するかどうか判断することになります。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

※意見書提出を求める場合は、意見書の案文を添付願います。

【記載例】 請願（陳情）書  
令和 年 月 日  
田村市議会議長 ○○○○ 様  
請願者 住所 ○○○○○○○○  
（陳情者）氏名 ○○○○○ 印  
（連絡先）電話番号 ○○○○○○○○  
紹介議員 ○○○○（署名又は記名押印）  
※陳情の場合は不要  
（件名）○○○○について  
請願（陳情）要旨 ○○○・・・  
請願（陳情）事項 ○○○・・・



## 議会事務局からのお知らせ

田村市議会のホームページでは、議会に関する各種情報を公開しています。定例会等の開催日程や会議録など最新の情報をご覧になることができます。

### ☆議会中継をインターネットで動画配信しています！！

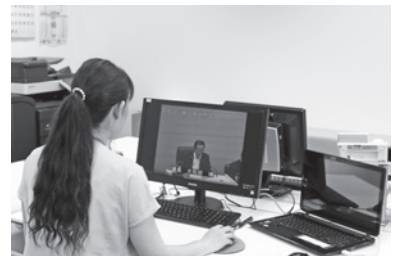
田村市議会では、インターネットを活用し、本会議中継を動画配信（ライブ及び録画）しております。市のホームページからアクセスしていただくと、代表質問や一般質問などの映像をご覧いただくことができます。

なお、ライブ配信は議会開催中に、録画配信は議会閉会后1週間程度でご覧になることができます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

### ☆市民の声を募集しています！！

議会や市政全般に対するご意見・ご要望などを360字程度で住所、氏名をご記入いただき、顔写真を同封（添付）して持参、郵送、メールにより議会事務局までご寄稿ください。

なお、ご寄稿していただきました原稿について、「市民の声掲載基準」に基づき、掲載の可否を判断いたします。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。



### ☆市政だより、議会だよりをスマホ用アプリ『マチイロ』でご覧いただけます！！

「たむら市政だより」、「たむら議会だより」をもっと多くの皆さんに読んでいただけるよう、スマートフォン用アプリ「マチイロ」を導入しました。この無料アプリをダウンロードすると、いつでもどこでもスマートフォンなどで「市政だより」や「議会だより」を読むことができます。

ダウンロード方法など詳しくは「マチイロ」のホームページをご覧ください！

☆アドレス☆ <http://machihiro.town/>



# シリーズ 市民の声



## 「田村市大好き」

田村市船引町

おおかわら てるこ  
大河原 輝子 さん

平成23年に閉校となった旧石森小学校は、現在複合型テレワークセンターテラス石森として蘇り、地域交流の場として幅広く利用され、田村市の新たな拠点となっています。

体育館では、卓球・ラジボール卓球・バレーボール・ミニバスケットボールなど小中学生から高齢者まで幅広く毎日利用されています。

現在、コロナ禍で様々な制限がかかる中ではありますが、ラジボール卓球では会員70名、平均年齢69.8歳、最高齢者85歳。常時30名くらいで練習し、汗を流すことで「健康寿命を延ばす！」と頑張っています。

元気な子どもたちが、心も身体ものびのびと育ち、高齢者は健康で長生きできるような環境が整い、「田村市大好き」という声が増え、笑顔が増えれば素晴らしい地域になると思います。

最後に、夢と希望が持てる田村市になってほしいと願います。



活動の様子

# シリーズ 若者の声



## 「地域の懸け橋となって」

船引高校2年生

たかの あきよし  
高野 晃義さん（船引町出身）

私は昨年度、「田村市市民の歌実行委員会ワーキンググループ」に参加しました。委員会では、田村市の観光地や魅力について地域の方々と意見を交換し、考えを深めることができました。

これらの活動をもとに「田村市市民の歌」の歌詞を作成しました。委員会での活動経験を通して、地域のために自分が何か役立てることに充実感を抱き、地域貢献活動に興味を持つようになりました。

私は今年から、「船高アクティブリーダー育成プロジェクト」という学校での活動に参加をしています。今年度は地域の「防災」をテーマに活動しているので、防災について学ぶだけではなく、学んだことを地域の方々へ伝えていく活動にも取り組んでいくことによって、地域の方々を結ぶ懸け橋となればよいなと思っています。



活動の様子

## ☆9月定例会の開催予定☆

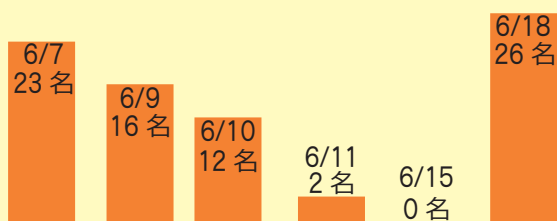
9月定例会は下記の日程で開催される予定です。議会は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。なお、傍聴につきましては、「新しい生活様式」に基づき実施しておりますので、傍聴される場合はご協力をお願いいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

8月31日	(火)	初日（招集日） 会期の決定、提案理由の説明等
9月2日	(木)	代表質問
9月3日	(金)	一般質問
9月6日	(月)	一般質問
9月7日	(火)	一般質問
9月8日	(水)	総括質疑、議案等の常任委員会付託 各常任委員会審査
9月9日	(木)	予算常任委員会審査
9月10日	(金)	決算特別委員会審査
9月13日	(月)	決算特別委員会審査
9月14日	(火)	決算特別委員会審査
9月15日	(水)	決算特別委員会審査
9月17日	(金)	最終日 各常任委員会審査結果報告、質疑、討論、採決



令和3年6月定例会の傍聴者

6月定例会は、延べ79人の方が傍聴されました。



- 〈委員長〉 吉田 文夫
- 〈副委員長〉 土屋 省一
- 〈委員〉 二瓶恵美子
- 石井 忠重
- 白石 勝彦
- 木村 高雄



☆田村市議会ホームページアドレス☆  
<http://www.city.tamura.lg.jp/site/gikai/>



- ◆発行責任者：議長 大橋 幹一
- ◆編集：議会広報委員会
- ◆印刷：箭内印刷